

実施内容

2024年5月現在、36ブロック、26LOMに拡大支援を行いました。主として「JCだけで企画+JCだけで実行+JCだけで事業報告」している現状を変えない限り、入りたくなるLOMにすることは困難であるという点を軸に支援しています。シンプルで効果的な拡大の仕組みを提案し、全てのLOMがまちから必要とされるために本フォーラムを実施します。

背景

なぜ必要？

会員拡大はJC創設以来、今日まで続くJC運動であります。多くの入会者を募ってもJC運動である会員拡大を止めてはいけません。しかし、ただ勧誘し人数を増やすだけでは、JCの理念の共感は得られません。今こそJCが行政や企業、他団体と協働し、地域をより良く変化させ、地域に求められる組織になることが必要です。

目的

目指すゴールは？

我々JCだけで起こす運動から、地域のパートナーと共に起こす運動を徹底し、地域から「何をしているかわからない団体」から「地域に必要とされる団体」へと変化させ、LOMに自然と人が集まることを目的とします。

手法 地域でどんな展開ができる？

■自然と人が集まるLOMのつくりかた

行政や企業との協働を軸とし「JCだけで企画+JCだけで実行+JCだけで事業報告」することを辞めることを提案します。行政の特性とJCの特性は表裏一体。

JCから行政や企業に企画段階から議案書を通じて相談ベースから協働することを勧めます。

<https://drive.google.com/file/d/1Umho7JqUaF85bkZfXCLGGzzzBuAXxfOb/view?usp=sharing>

■例会、事業の意識変革

我々の活動運動を表現する唯一の方法である「例会、事業」の構築段階からパートナーと共に協働することで自己満例会、自己満例会・事業が無くなることをもち帰っていただきます。全ての例会、事業がまちをより良く変え、JCが自然と集まる組織へと変化します。また、地域の将来を明確にVISIONとして掲げたLOMが日本中に広がり「何をしている団体かわからない」と言われることが無くなります。

■日本青年会議所 拡大マニュアル

JCは全ての会員が40歳で卒業します。LOMにとっては毎年経験豊富な会員を失う欠点があります。

しかし、その欠点に勝る最大の利点が、組織が1年単位で新陳代謝をすることです。

過去の組織の固定概念に囚われず、常に透明性のある視点を持ち、変化する社会の課題を解決できる新たな能動的な組織が生まれます。

<https://drive.google.com/file/d/10RGDTcsoTldLMGIRYT1lwf6ZbVjzHrbV/view?usp=sharing>

実現できる理想の地域の未来

「JCだけで企画+JCだけで実行+JCだけで事業報告」が無くなり、例会や事業がパートナーシップと「協働」して行われ、まちがより良くなり、JCの認知度が高まります。2025年以降、まちから必要とされ、自然と人が集まるLOMが増え、全国のJC運動が日本の未来を明るく豊かにする未来を実現します。